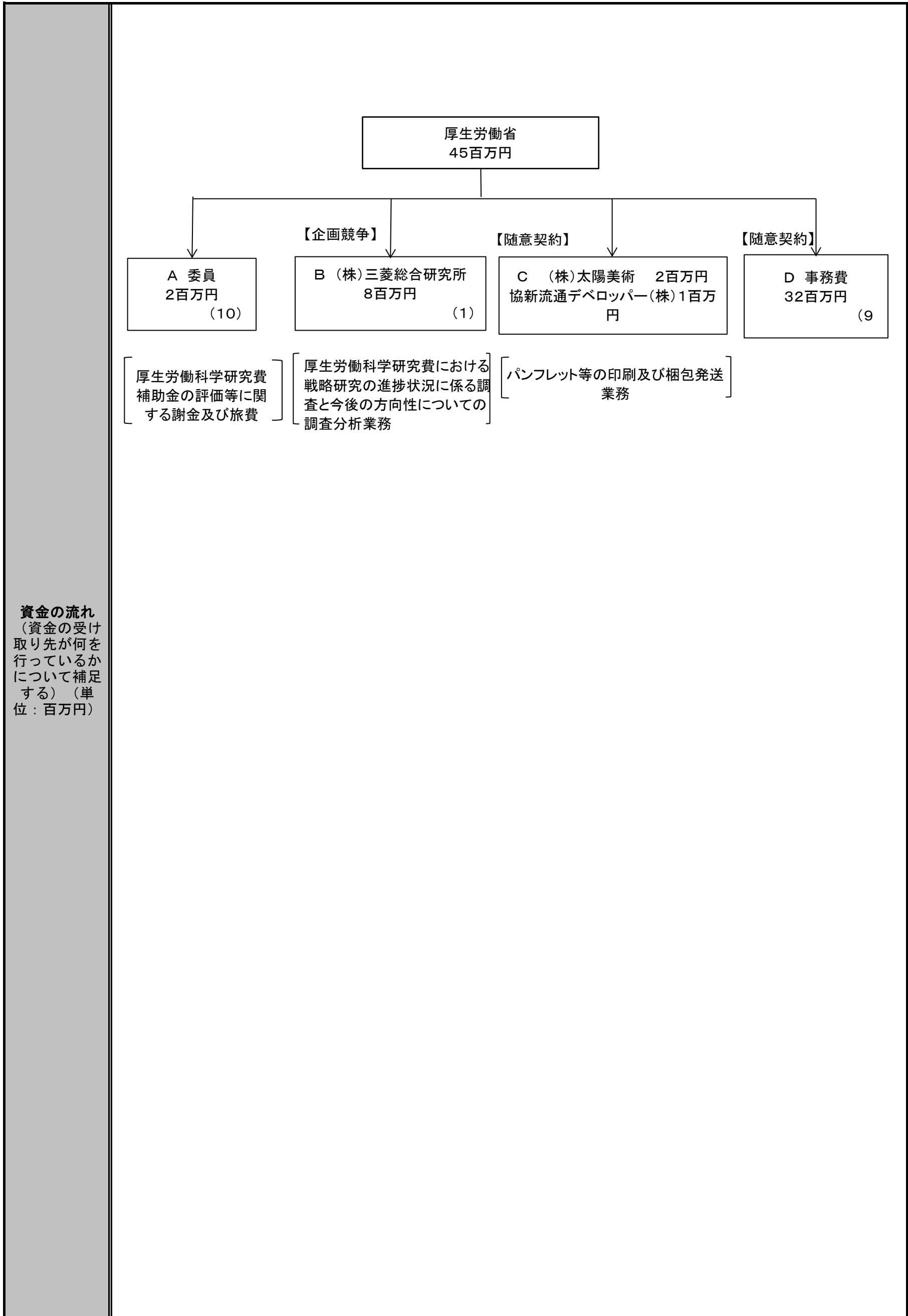


平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)							
事業名	研究評価推進事業費	担当部局庁	大臣官房	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成14年度	担当課室	厚生科学課	塚原 太郎			
会計区分	一般会計	施策名	VI-3-5 厚生労働分野の科学技術の研究開発を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—	関係する計画、通知等	・「第4期科学技術基本計画」(平成23年8月19日閣議決定) ・「国の研究開発評価に関する大綱的指針」(平成20年10月31日内閣総理大臣決定) ・「厚生労働省の科学研究開発評価に関する指針」(平成22年11月11日厚生労働省大臣官房厚生科学課長)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	厚生労働科学研究の振興を促し、もって、国民の保健医療、福祉、生活衛生、労働安全衛生等に関し、行政施策の科学的な推進を確保し、技術水準の向上を図ることを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	各研究事業毎に評価委員会を設置し、研究開発課題の採択に関する事前評価、研究の進捗を評価する中間評価、研究が適切に行われたか等々を評価する事後評価を実施する等、厚生労働科学研究費補助金の各研究事業が適切かつ効果的に実施されるための事業を実施している。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	46	45	54	57	57
		補正予算					
		繰越し等					
		計	46	45	54	57	57
	執行額	40	40	45			
執行率(%)	87.0%	88.9%	83.3%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	各研究事業の適切かつ効果的な実施が図られているが、これらの成果を数値で示すことは困難	成果実績	-	-	-	-	-
		達成度	-	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	評価委員会開催回数	活動実績 (当初見込み)	回	72 —	63 —	68 —	— ()
単位当たりコスト	838,000 (円/1回)	算出根拠	活動実績/執行額				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	8	8				
	職員旅費	17	17				
	委員等旅費	3	3				
	庁費	43	43				
	計	57	57				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	厚生労働科学研究の振興を促し、もって、国民の保健医療、福祉、生活衛生、労働安全衛生等に関し、行政施策の科学的な推進を確保し、技術水準の向上を図ることを目的とする経費であり、優先度の高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	「第4期科学技術基本計画」(平成23年8月19日閣議決定)、「国の研究開発評価に関する大綱的指針」、「厚生労働省の科学研究開発評価に関する指針」に基づく事業である。
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	例年恒常的に予算額と執行額に乖離がみられるものの、不用理由については把握している。
資金の流れ、費目・使途	×	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	予算決算及び会計令において随意契約が認められているため。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	現行の予算規模の範囲内において、効率的な執行に努めており、妥当な水準である。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	—
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	事業の適切な遂行について、必要な経費に限定されている。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	本事業の目的を達成するため、専門家、有識者の見解を踏まえ、実効性のある取組を示している。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	—
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	活動実績はその見込みに見合ったものとなっている。
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	—
	○	※類似事業名とその所管部局・府省名 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	— 各研究事業の適切かつ効果的な実施が図られている。
点検結果	今後も引き続き、厚生労働科学研究費補助金の各研究事業が適切かつ効果的に実施されるよう、適切な事業の実施及び真に必要な経費に限定した支出を行う必要がある。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	本事業は、厚生労働科学研究の適切な遂行のための各研究事業毎に評価委員会設置に係る経費であり、引き続き適切な予算措置とすること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—	—		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			



資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を
 行っているか
 について補足
 する) (単
 位: 百万円)

A.委員A			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
旅費	検討会出席旅費	0.3			
諸謝金	検討会出席謝金	0.1			
計		0.4	計		0
B.(株)三菱総合研究所			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	調査分析業務	8			
計		8	計		0
C.(株)太陽美術			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
印刷製本費	パンフレット等の印刷	2			
計		2	計		0
D.事務費			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	パンフレット等のデザイン等	2.8			
職員旅費	研究評価推進事業に係る職員旅費	1.3			
消耗品費	トナーカートリッジ等	0.9			
その他	賃金等	27.0			
計		32.0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	委員A	委員等旅費及び諸謝金	0.4	—	—
2	委員B	委員等旅費及び諸謝金	0.1	—	—
3	委員C	委員等旅費及び諸謝金	0.1	—	—
4	委員D	委員等旅費及び諸謝金	0.1	—	—
5	委員E	委員等旅費及び諸謝金	0.1	—	—
6	委員F	委員等旅費及び諸謝金	0.1	—	—
7	委員G	委員等旅費及び諸謝金	0.1	—	—
8	委員H	委員等旅費及び諸謝金	0.1	—	—
9	委員I	委員等旅費及び諸謝金	0.1	—	—
10	委員J	委員等旅費及び諸謝金	0.1	—	—

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)三菱総合研究所	厚生労働科学研究費における戦略研究の進捗状況に係る調査と今後の方向性についての調査分析業務	8	随意契約	—

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)太陽美術	パンフレット等の印刷	2	随意契約	—
2	協新流通デベロッパー(株)	パンフレット等の梱包・発送	1	随意契約	—

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	有限会社ケーアーツ	パンフレット等デザイン制作業務	1.6	随意契約	—
2	富士ゼロックス(株)	トナーカートリッジ等購入	0.9	随意契約	—
3	(株)紀伊國屋書店	医中誌web 利用契約料	0.2	随意契約	—
4	職員A	研究評価推進事業に係る職員旅費	0.2	—	—
5	職員B	研究評価推進事業に係る職員旅費	0.2	—	—
6	(有)タケマエ	トナーカートリッジ等購入	0.1	随意契約	—
7	職員C	研究評価推進事業に係る職員旅費	0.1	—	—
8	職員D	研究評価推進事業に係る職員旅費	0.1	—	—
9	職員E	研究評価推進事業に係る職員旅費	0.1	—	—
10	職員F	研究評価推進事業に係る職員旅費	0.1	—	—